

大地の恵と海の幸 持続可能なまちへ



町長

濱館 豊光

新年あけましておめでとうございませす。町民の皆様には、初春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から町政の推進に對しまして、温かいご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

長い間続いております新型コロナウイルス感染症との戦いは、ワクチン接種の浸透と比例する形で新規感染者数は徐々に抑えられ、収束の兆しも大分見えてまいりました。新たな変異株への留意は必要ですが、今後、世の中が一気に動きだした際に乗り遅れないよう、先を見据えた体制づくりが必要だと考えております。

■デジタル化社会に向けて

国では昨年9月にデジタル庁を設立し、デジタル改革の推進によるポスト

コロナの新しい社会作りに向け動き出しました。行政のデジタル化を推進し、令和7年度までには今まで自治体ごとにバラバラだったシステムを標準化することで、コスト削減、データのやり取りの迅速化、住民サービス向上を目指すというものです。

当町で実施いたしましたマイナンバーカード申請の集中受付業務は、まさにデジタル化を推進する取り組みの一つであります。昨年5月に新聞で報道されましたが、当時の町のマイナンバーカード交付率は県平均25・2%を下回る15・1%で、県内最下位でありました。今回の事業では、新型コロナウイルス感染症により影響を受けている家庭や町内事業者への経済対策とマイナンバーカードの普及を図るため、新規のマイナンバーカード申請者や既にお持ちの町民に商品券などを配布いたしました。この事業により、交付率50%超えが見込まれます。マイナンバーカードは顔写真付きの身分証明書として使えるほか、保険証など各種行政サービスはこのマイナンバーカードに一体化できます。今後は運転免許証の一体化なども予定され、デジタル化の推進により私たちの生活はますます便利になります。マイナンバーカード1枚で各種行政手続きを自宅にいなからオンラインで行うのが当たり前の時代と

■人口減少問題を真剣に

当町のみならず、全国的な課題となっている少子高齢化による人口減少問題は、今後ますます人が減っていつたときにどうやって地域を維持していくのかを、今から考えなければなりません。約25年後となる2045年には、町の人口は4,021人になるという推計値も発表されております。昨年10月から13行政区で兼任集落支援員を配置させていただきましたが、今年も

つと多くの行政区で配置される見込みとなっております。人口が減っていく中で地域を維持していくためには、地域内のつながりが大切になってきます。町内会長などが集落支援員を兼ねる兼任集落支援員には、地域のリーダーとして地域活動を活性化していただき、地域住民一人一人が地域のことを自分ごととして地域に関わり合い、自分たちが暮らしやすい地域にするために自ら考え取り組むことが、結果として地域の共助力を高め、人口が減っていった中でも安心して地域で暮らしていることにつながるものと考えています。

■なくなる一方で新しく誕生するもの

今年、町唯一の高校である県立中里

高等学校が46年という長い歴史に幕を下ろすこととなります。地域に根ざした活動を行い、地域に愛された高校でありました。町の活性化のため閉校を迎えるその日まで活動し続けてきています。閉校となる学校がある一方で、小泊地域には小中一貫校として新たに「こどもり学園」が開校します。子どもたちには新しい学び舎で、元気に笑顔でのびのびと勉強や運動に励んでいただき、新たな歴史を刻んでいってほしいと思います。

時代とともになくなってしまうものや新たに始まるものがありますが、常に変わりゆく社会の流れや国の動向も注視しながら、情報を正しく分析し、遅滞なく迅速に対応してまいります。

当町の基幹産業である一次産業「大地の恵と海の幸」でしっかりと食べている持続可能なまち、町民の皆様が安心して楽しく暮らせるまちをめざして、これからも日々の公務に取り組んでまいりますので、今後とも町政運営に對しましてご理解とご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りし、新年のごあいさつといたします。

町政の発展に向けて



町議会議長
川山光則

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、平素より町議会に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、豪雪や下北半島を中心とした大雨による被害、地震などの自然災害に見舞われました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種や「青森県新型コロナウイルス感染症緊急対策パッケージ」を受けた対策など、コロナ禍と果敢に向き合った1年でありました。町民の皆様におかれましては、感染症対策を十分に行い、健やかに過ごされるよう祈念するとともに、1日も早い収束を願うものです。



数多くの感動を与えてくれた「東京2020オリンピック・パラリンピック」では、東京2020パラリンピック聖火フェスティバルに際して行われる採火式が宮越家「離れ・庭園」で行われました。集火式を経て町から「希望の火」を届けられたことは、非常に喜ばしい出来事でありました。

さて、町議会では、新型コロナウイルス

感染症の影響によってますます厳しさを増した地方税財源の充実を求め「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」を採択し、衆議院議長をはじめとする関係各所へ送付しました。また、令和3年度産米の米価下落を受けて、「米価下落に対する米生産者救済のための財源確保と生産者が生産意欲を失わないための緊急対策を求める要望書」を町長へ手渡し、米生産者への支援と地域経済を守ることを要請いたしました。まだまだ予断を許さない新型コロナウイルス感染症の対策はもとより、地方創生や防災・減災対策、デジタル化などの実現に向けて一層の推進を図って参ります。

本年は今まで以上に、議員一人ひとりがその責務を自覚し、さらなる資質の向上に努めるとともに、町民の皆様のご期待に応えられるよう、さらに精進して参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、この1年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心から祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

中泊町副町長	横野 彰 吾	中泊町固定資産評価委員会 審査委員	佐藤 恭 一
中泊町教育委員会教育長	米塚 鈴 子	中泊町農業委員会会長	松坂 龍 美
中泊町選挙管理委員会委員長	山本 孝 男	中泊町消防団団長	成澤 清 志
中泊町代表監査委員	外崎 良 造		